BUFFALO

AirStation 導入ガイド

本製品をご使用になる前に

本製品を以下の環境でご使用になる場合、本製品の VPN 機能は使用できません。あらかじめご了承ください。

・ プロバイダから割り当てられる IP アドレスがプライベート IP アドレスの場合

・ ルータ機能を内蔵したADSLモデムに本製品を接続して使用する場合（※）

※ルータ機能を無効にするなど、ADSL モデムの設定を変更すると、本製品の VPN 機能が使用できることがあります。設定変更については、ADSL モデムのマニュアルをご参照ください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 **マーク** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。 この注意事項に従わなかった場合、 身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ **マーク** 製品の取り扱いに関する補足事項、 知っておくべき事項です。

▶参照 **マーク** 関連のある項目のページを記しています。

・文中 [ ] で囲んだ名称は、 操作の際に選択するメニュー、 ボタン、 テキストボックス、 チェックボックスなどの名称を表わしています。

目　次

第１章　VPN とは

第２章　外出先からアクセスする

第３章　ネットワーク同士を接続する

第４章　付録

第1章 VPNとは

1.1 VPNとは

1.2 VPNの活用例

1.3 VPNで通信するには

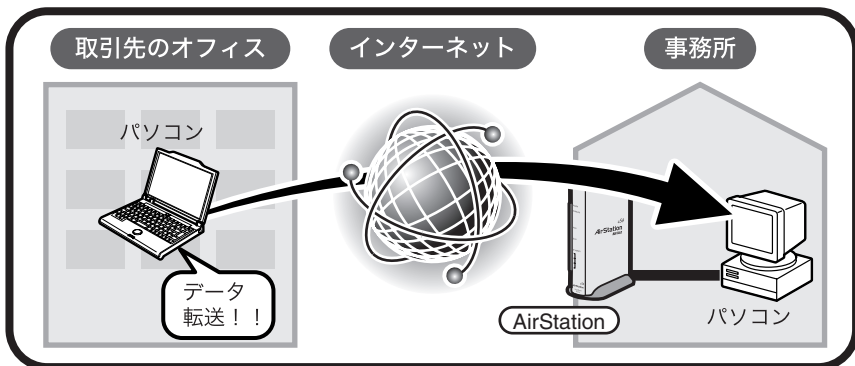
1.1 VPN とは

VPN （Virtual Private Network） とは、 インターネットなどの共有回線上で仮想的に専用ネットワークを構築する技術です。
通常、 「インターネット」 という共有回線上での通信は、 専用線で直結したときの通信と同様の安全性は確保できません。 VPN を使用すると、 拠点間で行われる通信を暗号化することで、 インターネット上であっても安全性のある通信をおこなうことができます。 また、 ネットワーク規模の大小に関わらず、 比較的導入が簡単なことや、専用線と比べて、 距離に比例してコストが高くならないといった特長があります。

1.2 VPN の活用例

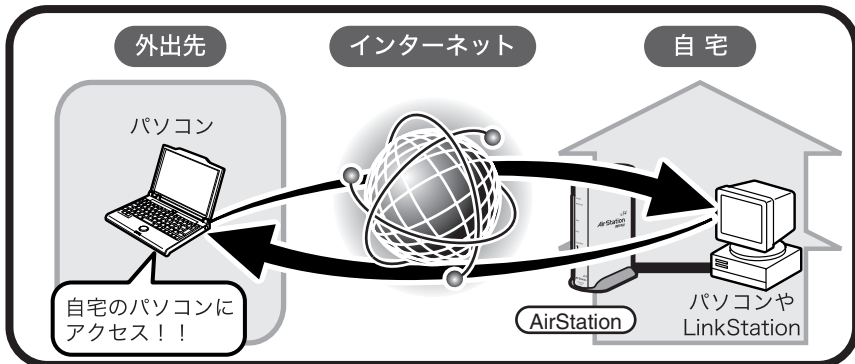
VPN を活用すると、 次のようなことができるようになります。

■ 活用例 1　外出先から事務所のパソコンへデータを転送する

Ａ さんは、小さいながらも自宅に事務所を構え、個人で仕事をしています。今日は取引先の会社で図面の打ち合わせをする予定です。VPN を活用すれば、取引先で打ち合わせた内容を、その場で事務所のパソコンへ転送することができます。

メモ　転送先（事務所）のパソコンは、あらかじめ電源を ON にしておく必要があります。

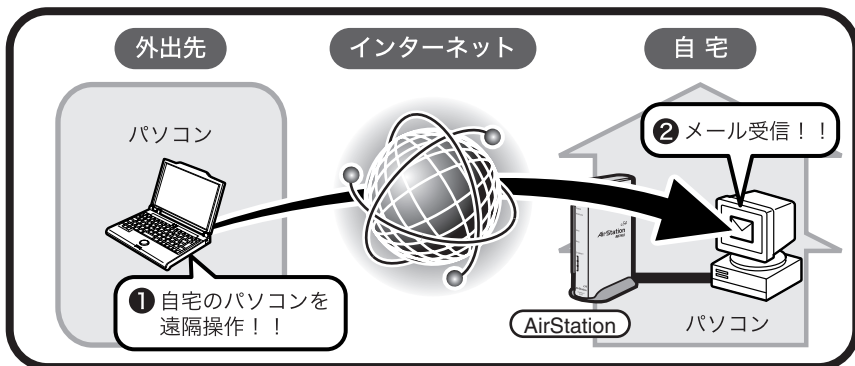
☞ 設定方法は、 第 2 章 「外出先からアクセスする」 を参照してください。

■ 活用例 2　自宅のパソコンにあるデータに外出先からアクセスする

Ｂ さんは、事業部のプロジェクトリーダーです。今日の企画会議のため、昨晩のうちに自宅で資料をまとめたのですが、うっかりデータを忘れてきてしまいました。そんなとき VPN を活用すれば、自宅のパソコンや LinkStation へアクセスし、データを取り出すことができます。

メモ　アクセス先（自宅）のパソコンは、あらかじめ電源を ON にしておく必要があります。

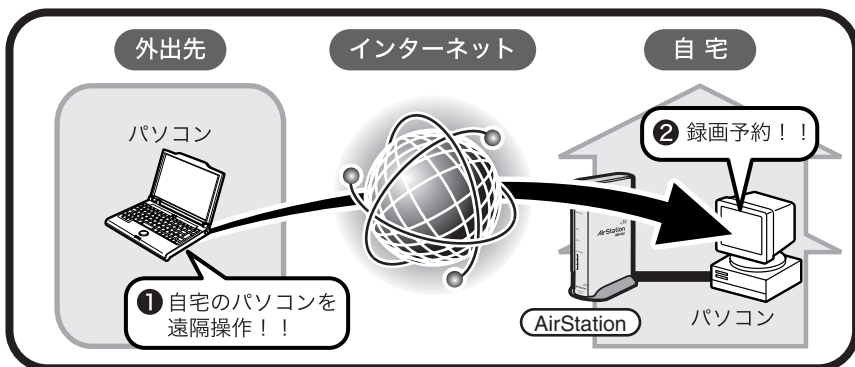
☞ 設定方法は、 第 2 章 「外出先からアクセスする」 を参照してください。

■ 活用例 3　外出先からメールチェックする

友人の多い C さんは、毎日のメールのやりとりが大変です。自宅でしかメールをチェックできないため、睡眠時間を削ってメールをやりとりしています。そんなとき VPN を活用すれば、外出先から空き時間に自宅のパソコンへアクセスして、メールをチェックすることができます。

メモ
- アクセス先（自宅）のパソコンに、WindowsXP Professional がインストールされている必要があります。
- アクセス先（自宅）のパソコンに、あらかじめリモートデスクトップの設定をして、電源を ON にしておく必要があります。（P62）

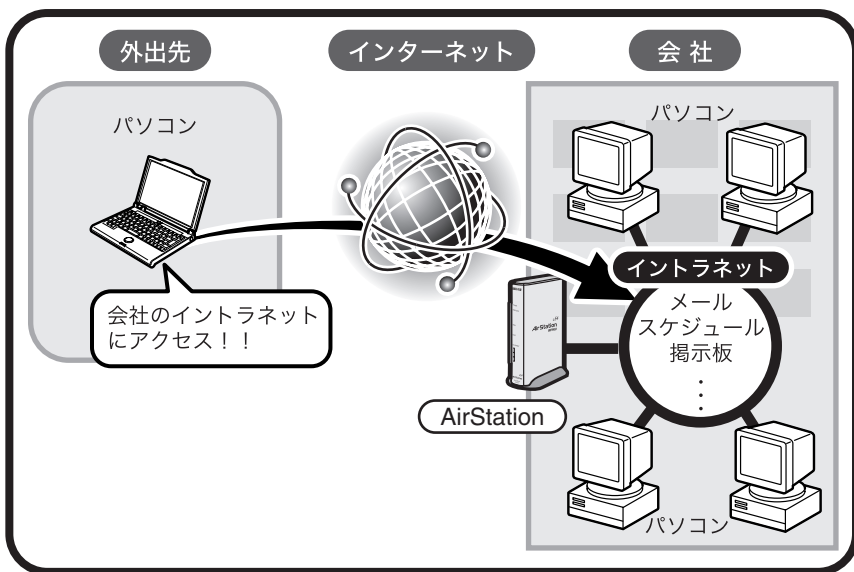
☞ 設定方法は、第 2 章「外出先からアクセスする」を参照してください。

■ 活用例 4　外出先から録画予約する

大学生の D さんには、現在、夢中になっているドラマがあり、毎回欠かさずパソコンに録画しています。今日はサークル仲間と旅行に来たのですが、ドラマの録画予約を忘れたことに気が付きました。そんなとき VPN を活用すれば、外出先から自宅のパソコンへアクセスし、録画予約をすることができます。

メモ　・アクセス先（自宅）のパソコンに、WindowsXP Professional がインストールされている必要があります。
・アクセス先（自宅）のパソコンに、あらかじめリモートデスクトップの設定をして、電源を ON にしておく必要があります。（P62）

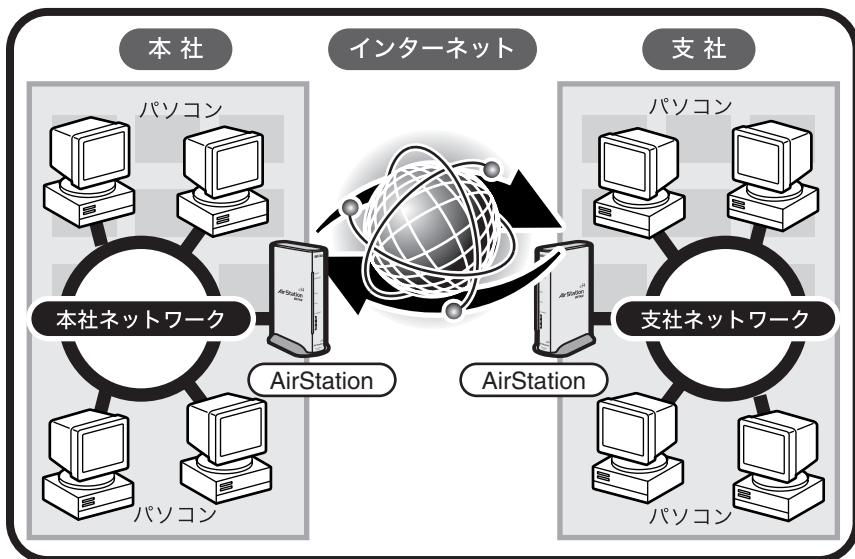
☞ 設定方法は、第 2 章「外出先からアクセスする」を参照してください。

■ 活用例 5　外出先から会社のイントラネットにアクセスする

事業部長の E さんは、現在、長期出張中です。長期間、会社を離れるため、社内の状態がとても気になっています。そんなとき VPN を活用すれば、出張先から会社のイントラネットへアクセスして、情報を共有することができます。

メモ　社内にファイアウォールが設置されている場合、ファイアウォールの設定変更が必要になることがあります。ファイアウォールの設定変更については、社内のネットワーク管理者にご相談ください。

☞ 設定方法は、第 2 章「外出先からアクセスする」を参照してください。

■ 活用例 6　本社ネットワークと支社のネットワークを接続する

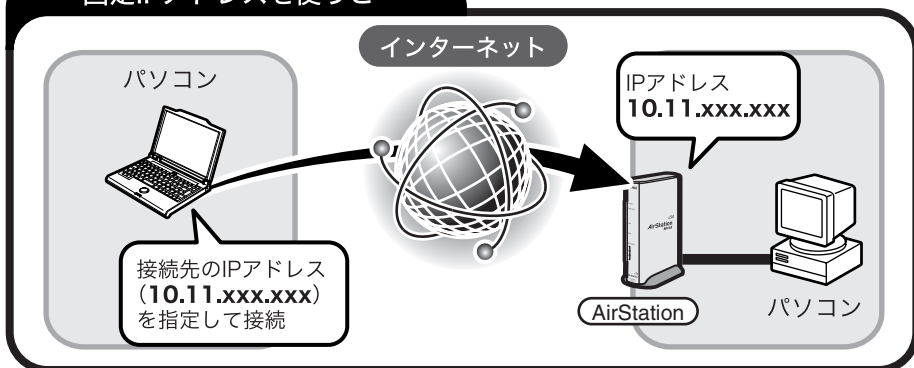
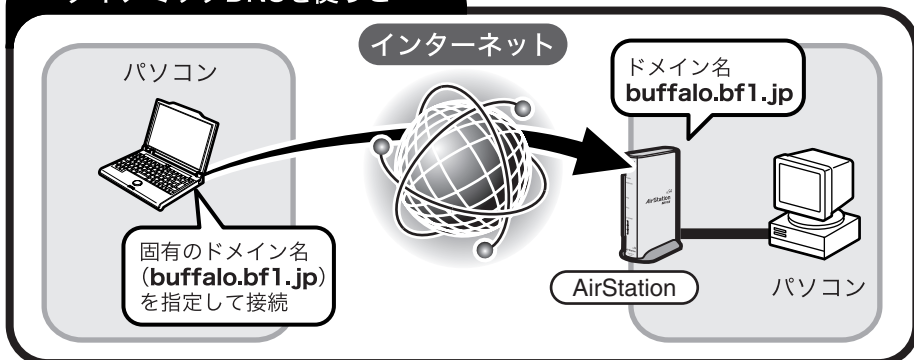
情報システム部長の F さんは、今度新設される名古屋支社の情報システムを担当することになりました。今度、名古屋に転勤になる社員からは、「今までと同じように本社のデータベースへアクセスできるようにしてほしい」と言われていますが、専用線を導入するほどの予算がありません。そんなとき VPN を活用すれば、安価なブロードバンド回線を利用して、本社のネットワークと支社のネットワークを専用線のように接続することができます。

☞ 設定方法は、第 3 章「ネットワーク同士を接続する」を参照してください。

1.3 VPN で通信するには

VPN で通信するには、 IP アドレスで通信先を特定するため、 次のどちらかの環境が必要です。

- **「固定 IP アドレス」 （固定グローバル IP アドレス） でインターネットに接続できる環境**
- **「ダイナミック DNS サービス」 を使用して、 ドメイン名から IP アドレスを特定できる環境**

通常、 プロバイダから割り当てられる IP アドレスは、 インターネットに接続するたびに変わります。 この場合、 IP アドレスで通信先を特定することができません。 プロバイダの固定 IP アドレスの割り当てサービスは、 一般に高価なため 「安価に VPN を利用したい」 という場合は、 弊社の 「ダイナミック DNS サービス」 （有料） をお勧めします。 「ダイナミック DNS サービス」 を利用すると、 プロバイダから割り当てられた IP アドレスが変更されても、 あらかじめ登録しておいたドメイン名（***.bf1.jp など） を使って通信することができます。

メモ

・ 固定グローバル IP アドレスを取得するには、プロバイダの固定 IP アドレスの割り当てサービスを契約する必要があります。
・ 弊社のダイナミック DNS サービスは有料サービスですが、購入前に動作やサービス内容を確認していただだけるよう、無料トライアル期間（利用登録後 1ヶ月間）を設けております。無料トライアル期間終了後も引き続きダイナミック DNS サービスを使用したい場合は、有料サービスの申し込みが必要です。有料サービスについてのご案内は、無料トライアル期間終了前に、弊社から E メールにてお知らせします。
・ 弊社以外のダイナミック DNS サービス（@ nifty、DION、DynDNS、ZiVE）を利用することもできます。

第2章
外出先からアクセスする

2.1 AirStation（親機）を設定しよう

2.2 外出先で使うパソコンを設定しよう

2.3 外出先から接続しよう

2.1 AirStation（親機）を設定しよう

外出先からアクセスできるようにするため、 AirStation の設定をします。

Step 1 AirStation （親機） の設置

最初に AirStation を設置します。

メモ
- AirStation をお使いになる前に、ADSL/ケーブルモデムにパソコンを直結してインターネットに接続していた場合は、いったん ADSL/ ケーブルモデムの電源を OFF にした後、30 分程度たってから配線してください。
- Windows2000 をお使いの場合は、パソコンに Internet Explorer5.5 以降がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、作業を始める前に［スタート］メニューより［Windows Update］を選択して、Internet Explorer をバージョンアップしてください。

1 AirStation を接続する前に、パソコンと ADSL/ ケーブルモデムの電源を OFF にします。

2 スタンドを取り付けます。

3 AirStation とモデムと AC アダプタを接続します。

AirStation の WAN ポート（一番下のポート）と ADSL/ ケーブルモデムを付属の LAN ケーブルで接続します。次に AC アダプタを接続します。

メモ AirStation とパソコンを有線（ケーブル）で接続する場合は、ここでパソコンと AirStation を別売の LAN ケーブルで接続してください。

4　POWERランプとWANランプとDIAGランプが点灯します。

しばらくすると、WIRELESSランプが点灯します。
その後、数秒でDIAGランプが消灯します。

以上で設置は完了です。

次へ
- 無線を使ってパソコンとAirStationを接続する場合は、「Step2」(P16)へ進んでください。
- 有線（ケーブル）でパソコンとAirStationを接続する場合は、「Step4」(P20)へ進んでください。（「Step2」や「Step3」の手順は不要です）

Step 2 無線アダプタ （子機） の取り付け

ドライバをインストールして、 無線アダプタをパソコンに取り付けます。

- WLI-CB-G54 や WLI2-USB2-G54 など AOSS に対応している弊社製無線アダプタをお使いの場合は ：

  ⇒ 以下の手順にしたがってインストールしてください。

- AOSS に対応していない弊社製無線アダプタや他社製無線アダプタ、 無線 LAN 内蔵パソコンをお使いの場合は ：

  ⇒ 以下の手順は不要です。 無線アダプタやパソコンのマニュアルを参照して無線機能を有効にし、 AirStation に接続してください （※）。 AirStation に接続した後は、 「Step4」 （P20） へ進んでください。

  ※ AirNavigator CD 内「AirStation 設定ガイド」の「無線機能の設定を変更したい」を参照してください。

メモ **AirStation の出荷時設定**

ESSID(SSID) ： AirStation 底面に記載されている LAN MAC アドレス
暗号化キー ： 設定なし

※ AOSS で設定された AirStation の ESSID(SSID) と暗号化キーを確認したいときは、 AirNavigator CD 内 「AirStation 設定ガイド」 の 「設定を確認したい」 を参照してください。

まだ取り付けないでください
無線アダプタは、以下の手順６の取り付け指示があるまで、取り付けないでください。先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、［キャンセル］をクリックして、無線アダプタを取り外してください。

1 パソコンを起動します。

2 添付の CD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。

しばらくすると、AirNavigator が起動します。

3

4 インストーラが起動しますので、[次へ] をクリックします。

5 使用許諾契約を読み、同意できる場合は [同意する] を選択して、[次へ] をクリックします。

6

「製品を取り付けてください」と表示されたら、無線アダプタ（子機）をパソコンに取り付けます。

7 「インストールが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。

8 自動的に Client Manager2（クライアントマネージャ 2）のインストール画面が表示されます。

9

[OK] をクリックします。

10 使用許諾契約を読み、同意できる場合は [同意] をクリックします。

11 [次へ] をクリックします。

12 「Client Manager2 のインストールが完了しました」と表示されたら、[OK] をクリックします。

以上で無線アダプタ（子機）の取り付けは完了です。

Step 3 無線アダプタ（子機）の設定

AOSS 機能を使って、無線アダプタ（子機）を AirStation（親機）に無線で接続します。

AirStation（親機）の近くで設定してください
セキュリティを確保するため、無線アダプタ（子機）設定時は、電波が一時的に弱くなります。近くに障害物などがあると、AirStation（親機）に接続できない場合がありますので、設定は AirStation（親機）の近くでおこなってください。

1

画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「プロファイルを表示する」を選択します。

2

「AOSS 」をクリックします。

3 「AirStation のセキュア接続スイッチを押してください」と表示されたら、DIAG ランプが激しく点滅するまで（約 3 秒間）、AOSS ボタンを押します。

※ AOSS ボタンは、AirStation の電源を入れた状態で押してください。

4

自動的に AirStation が検索されて、設定が行われます。

5

設定が完了すると、「AirStation との接続を完了しました」と表示されます。

メモ

- 「セキュリティキー交換でエラーが発生しました」と表示されたときは、AirStation と無線アダプタを近づけてから（50cm 以内）、［やり直す］をクリックしてください。
- エラーメッセージが表示されたときは、AirNavigator CD 内「AirStation 設定ガイド」の「Client Manager2（クライアントマネージャ 2）の使いかた」を参照してください。

6

「ステータス」に接続中と表示されることを確認します。

メモ AirStation（親機）に正しく接続されなかった場合、AirStation の DIAG ランプが点滅から点灯に変わります。その場合は、再度手順 1 からおこなってください。

以上で無線アダプタ （子機） の設定は完了です。

Step 4 インターネットへの接続

AirStation を経由してインターネットへ接続できるように設定します。

1 添付の CD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。

しばらくすると、AirNavigator が起動します。

2

［エアステーション設定］を選択します。

［実行］をクリックします。

3 お使いの無線アダプタ（ネットワークアダプタ）を選択して、［次へ］をクリックします。

［次へ］をクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

4

ユーザー名に「root」（小文字）を入力します。パスワードは空欄のままにします。

［OK］をクリックします。

5

1 選択

設定画面が表示されたら、お使いの回線を選択します。

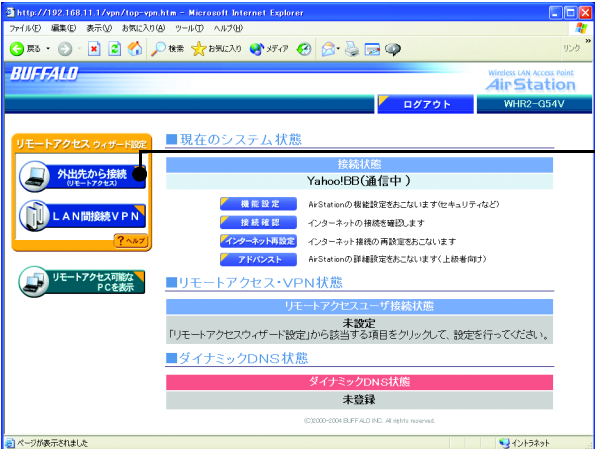
6 以降は、画面の指示に従い設定をおこないます。

設定が完了したら、Internet Explorer を起動して、インターネットに接続してください。

以上でインターネットへの接続は完了です。

Step 5 リモートアクセスの設定

インターネットへの接続が完了したら、 外出先から自宅やオフィスのネットワークにアクセスできるように AirStation の設定をします。

1 AirStation の設定画面を表示します。

WEB ブラウザのアドレス欄に「buffalo.setup」と入力し、<Enter> キーを押します。

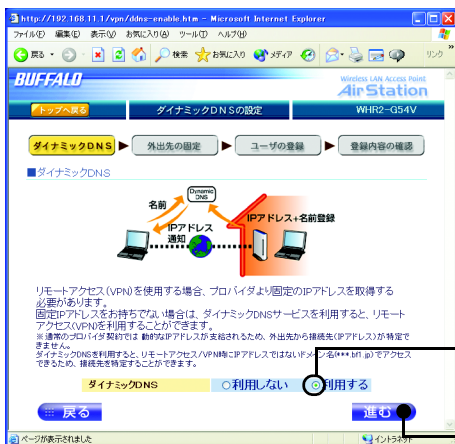
2

ユーザー名に「root」を入力します。
パスワードを空欄にします。AirStation にパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。

[OK] をクリックします。

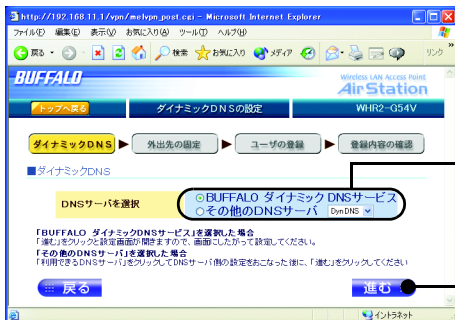
3

画面左の[外出先から接続]をクリックします。

4

1 選択 ダイナミック DNS に［利用する］を選択します。

2 クリック ［進む］をクリックします。

メモ 固定 IP アドレスをご利用の場合など、ダイナミック DNS を使用しない場合は、ダイナミック DNS に［利用しない］を選択して、［進む］をクリックします。以降は、手順１６へ進んでください。

5

1 選択 ご使用になるダイナミック DNS サーバを選択します。

2 クリック ［進む］をクリックします。

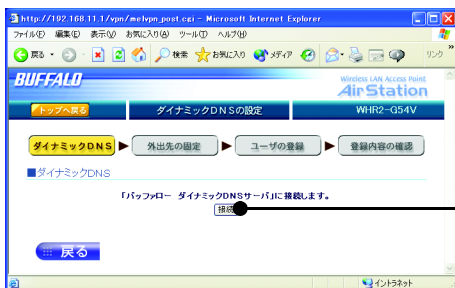
メモ
- はじめてダイナミック DNS サービスをご利用になる場合は、設定方法が簡単な「BUFFALO ダイナミック DNS サービス」（有料）の利用をおすすめします。
- 弊社以外のダイナミック DNS サービスをご利用になる場合は、「その他の DNS サーバ」欄をチェックし、プルダウンメニューから選択してください。
- プルダウンメニューにないダイナミック DNS サービスは利用できません。

以降の手順は、 BUFFALO ダイナミック DNS サービスを利用する場合の手順です。

BUFFALO 以外のダイナミック DNS サービスを利用する場合は、「ホスト名」、「ドメイン名」、「ユーザ名」、「パスワード」、「IP アドレス更新周期（有効期間）」を入力して ［進む］ をクリックしてください。

6

［接続］をクリックします。

7

製品シリアル番号（本製品底面のシールに記載されている 14 桁の数字）を入力します。

［登録・再設定］をクリックします。

8 「個人・法人」、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メールアドレス」を入力し、製品シリアル番号欄の下にある「ダイナミック DNS を利用する」をクリックしてチェックマークをつけ、［登録］をクリックします。

9 登録内容を確認して、［登録］をクリックします。

10 ［ダイナミック DNS 利用登録開始］をクリックします。

11 会員規約を確認し、同意できる場合は［同意して登録する］をクリックします。

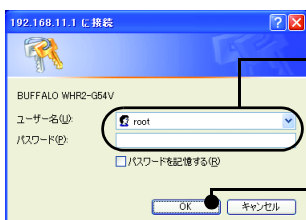
12

希望する URL のサブドメイン名（例:buffaloinc.bf1.jp）を半角英数字で入力します。

［送信］をクリックします。

13

登録内容を確認します。

［ルータに登録］をクリックします。

14

ユーザー名に「root」を入力します。パスワードを空欄にします。AirStationにパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。

［OK］をクリックします。

15 「設定を保存しています... 完了」と表示されたら、［Next］をクリックします。

16

［固定しない］を選択します。

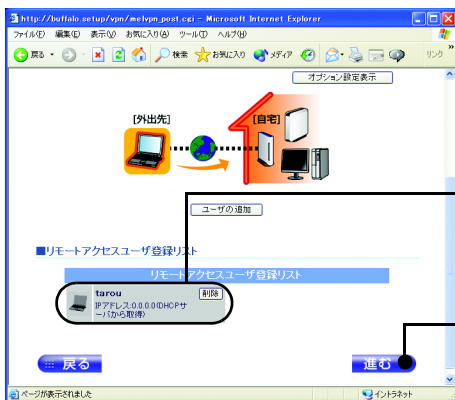
［進む］をクリックします。

メモ 固定 IP アドレスを契約している場合など、特定の IP アドレスから AirStation に接続する場合は、［固定する］を選択して［進む］をクリックします。次の画面が表示されたら、「制限しない外出先の IP アドレス」を入力して、［アドレスを追加］をクリックし、［進む］をクリックしてください。

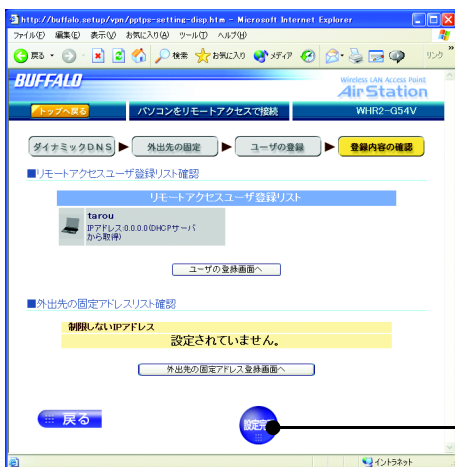
17

外出先から接続する際に使用するユーザ ID とパスワードを設定します。

［ユーザの追加］をクリックします。

18

「リモートアクセスユーザ登録リスト」に登録したユーザが表示されることを確認します。

［進む］をクリックします。「設定を保存しています...完了」と表示され、自動的に次の画面が表示されます。

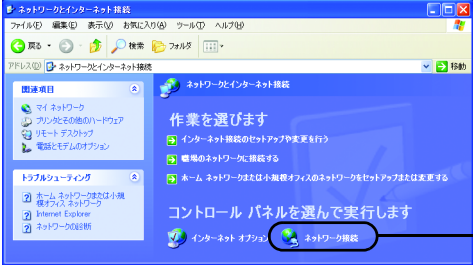
19

［設定完了］をクリックします。

2.2 外出先で使うパソコンを設定しよう

外出先から自宅やオフィスのネットワークにアクセスできるようにパソコンの設定をします。

設定手順は Windows のバージョンによって異なります。

▶参照 WindowsXP の場合 P28
Windows2000 の場合 P30
WindowsMe の場合 P32

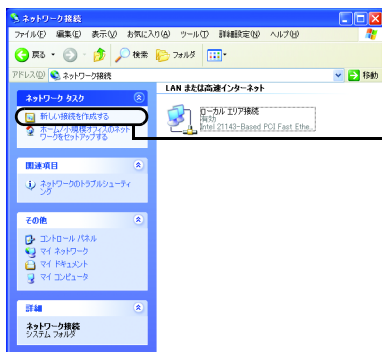
■ WindowsXP の場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

2

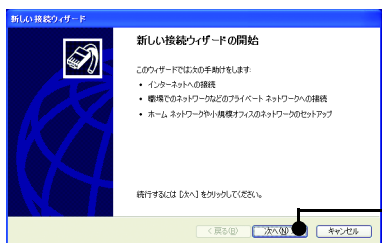
［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

3

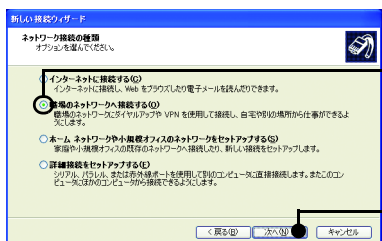
［ネットワーク接続］をクリックします。

4

1 クリック

画面左の［新しい接続を作成する］をクリックします。

5

1 クリック

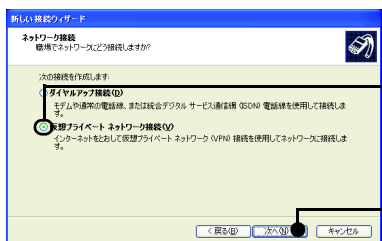
［次へ］をクリックします。

6

1 選択

［職場のネットワークへ接続する］を選択します。

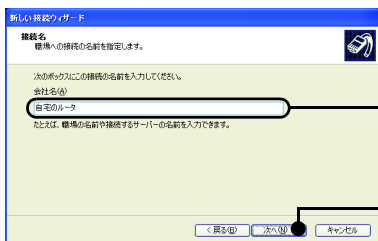
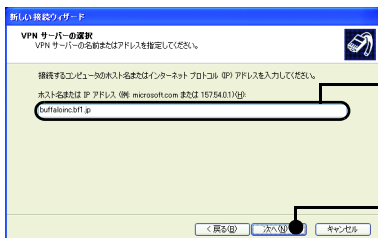
2 クリック

［次へ］をクリックします。

7

1 選択

［仮想プライベートネットワーク接続］を選択します。

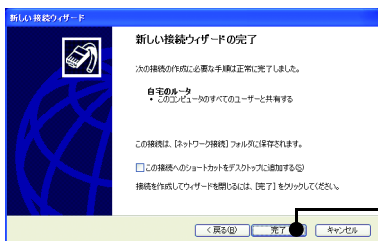
2 クリック

［次へ］をクリックします。

「会社名」に接続名称（例：自宅のルータ）を入力します。

［次へ］をクリックします。

9

バッファローDNS サービス（P25）で取得したホストアドレスまたは、AirStation の WAN 側 IP アドレスを入力します。

［次へ］をクリックします。

10

［完了］をクリックします。

以上でパソコンの設定は完了です。

■ Windows2000 の場合

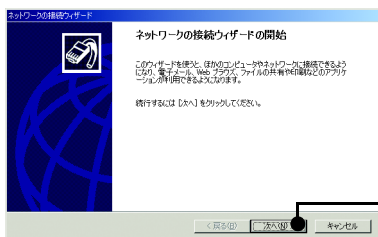
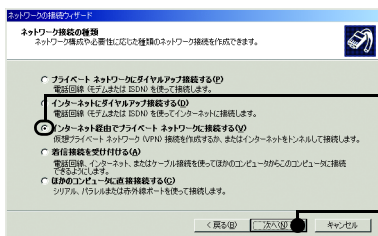
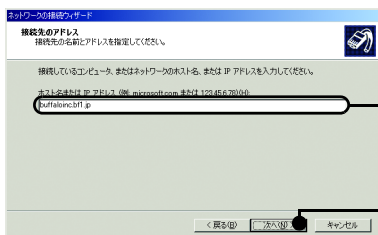
1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。

3 ［新しい接続の作成］をダブルクリックします。

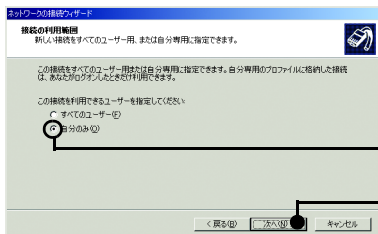
4

［次へ］をクリックします。

5

［インターネット経由でプライベートネットワークに接続する］を選択します。

［次へ］をクリックします。

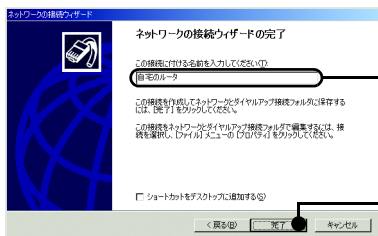
6

バッファローDNS サービス（P25）で取得したホストアドレスまたは、AirStation の WAN 側 IP アドレスを入力します。
［次へ］をクリックします。

7

［自分のみ］を選択します。

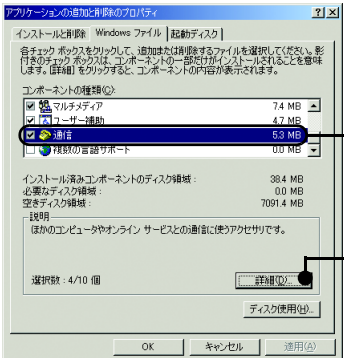
［次へ］をクリックします。

メモ　ここで設定する内容を他のユーザーも使用する場合は、［すべてのユーザー］を選択してください。

8

接続名称（例：自宅のルータ）を入力します。

［完了］をクリックします。

以上でパソコンの設定は完了です。

■ WindowsMe の場合

Windows の CD-ROM から「仮想プライベートネットワーク」をインストールする必要があります。

あらかじめ Windows の CD-ROM を用意してから、以下の手順で設定してください。

メモ パソコンによっては、Windows の CD-ROM の代わりにリカバリ CD-ROM が添付されている場合があります。その場合は、CD-ROM は必要ありません。(以下の手順 2 以降を参照して設定してください)

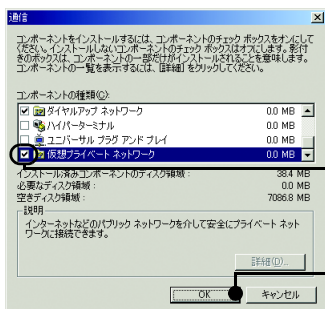
1 Windows の CD-ROM をパソコンにセットします。

2 [スタート] ― [設定] ― [コントロールパネル] を選択します。

3 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

4

5

6

[仮想プライベートネットワーク] のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

[OK] をクリックします。

7

[OK] をクリックします。

8

インストールが完了し、「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

メモ　上記のメッセージが表示されないときは、手動でパソコンを再起動してください。

9

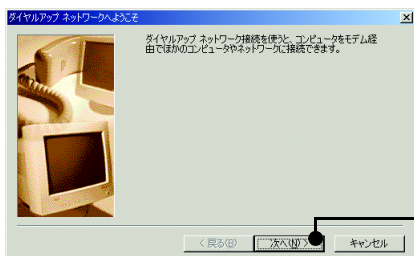
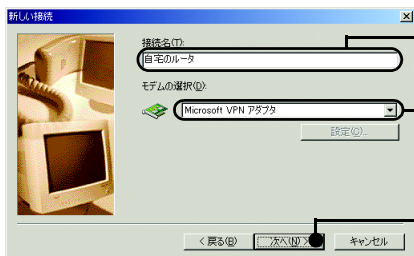
[スタート] ー [コントロールパネル] 内の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックします。

10

[新しい接続] をダブルクリックします。

11

[次へ] をクリックします。

12

接続名称（例：自宅のルータ）を入力します。

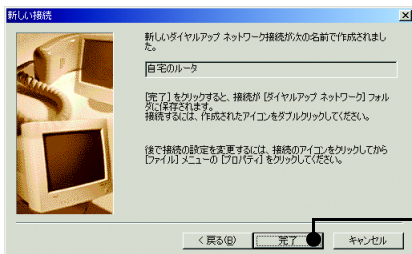
モデムの選択に [Microsoft VPN アダプタ] を選択します。

[次へ] をクリックします。

13

バッファローDNSサービス(P25)で取得したホストアドレスまたは、AirStation の WAN 側 IP アドレスを入力します。

[次へ] をクリックします。

14

[完了] をクリックします。

以上でパソコンの設定は完了です。

2.3 外出先から接続しよう

AirStation やパソコンの設定が完了したら、 外出先から自宅やオフィスのネットワークにアクセスします。

Step 1 外出先からの接続

外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。 接続方法は Windows のバージョンによって異なります。

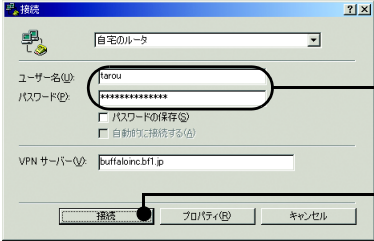
あらかじめインターネットに接続できるか確認してください。インターネットに接続できない場合は、自宅やオフィスのネットワークにアクセスできません。

■ WindowsXP/2000 の場合

1 「外出先で使うパソコンを設定しよう 」(P28) で設定した接続先をダブルクリックします。

- WindowsXP の場合は、[スタート] ー [コントロールパネル] ー [ネットワークとインターネット接続] ー [ネットワーク接続] の順にクリックし、接続先をダブルクリックします。
- Windows2000 の場合は、[スタート] ー [コントロールパネル] 内の [ネットワークとダイヤルアップ接続] をダブルクリックし、接続先をダブルクリックします。

2

ユーザー名とパスワードに「リモートアクセスの設定」で登録したユーザー名とパスワード (P26) を入力します。

[接続] をクリックします。

以上で外出先からの接続は完了です。

■ WindowsMe の場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］内の［ダイヤルアップネットワーク］をダブルクリックし、「外出先で使うパソコンを設定しよう 」（P28）で設定した接続先をダブルクリックします。

2

ユーザー名とパスワードに「リモートアクセスの設定」で登録したユーザー名とパスワード（P26）を入力します。

［接続］をクリックします。

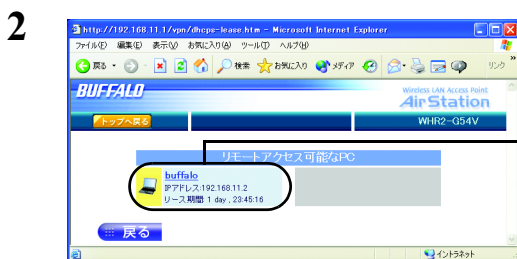
以上で外出先からの接続は完了です。

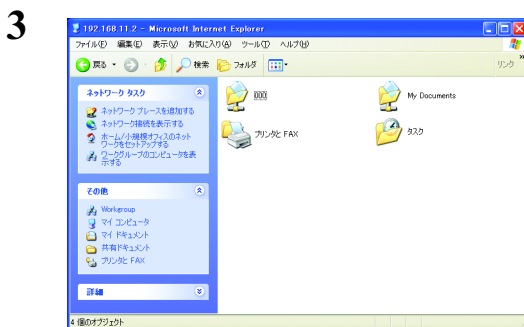
Step 2a 外出先から自宅のパソコンへデータを転送する/自宅のパソコンにあるデータに外出先からアクセスする

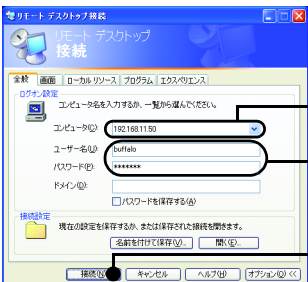
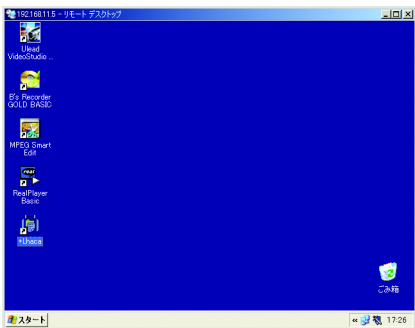
外出先から自宅のパソコンへデータを転送したり、 自宅のパソコンにあるデータに外出先からアクセスする場合は、 以下の手順にしたがってください。

⚠注意　自宅のパソコンの IP アドレスを手動で設定している場合は、以下の手順ではアクセスできません。その場合は、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］で、「¥¥ ＜パソコンの IP アドレス＞」(例 : ¥¥192.168.200.15) と入力して［OK］をクリックしてください。

1 WEB　ブラウザを起動し、アドレス欄に「buffalo.setup/hosts.htm」と入力して <Enter> キーを押します。

2

パソコンのリストが表示されたら、アクセスしたいパソコンをクリックします。

3

パソコンの共有フォルダが表示されアクセスが可能になります。

以上で自宅のパソコンへのアクセスは完了です。

Step 2b 外出先からメールチェックする / 録画予約する

外出先からメールチェックしたり、録画予約を行うには WindowsXP Professional の「リモートデスクトップ (遠隔操作) 機能」を使用します。第 4 章の「リモートデスクトップ（遠隔操作）の設定をするには」（P62）をおこなった後、以下の手順で自宅のパソコンを遠隔操作します。

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［通信］－［リモートデスクトップ接続］を選択します。

2

［オプション］をクリックします。

3

操作したいパソコンの IP アドレスを入力します。

そのパソコンに登録されているユーザー名とパスワードを入力します。

［接続］をクリックします。

メモ 操作したいパソコンの IP アドレスが分からない場合は、「Step2a」（P37）の手順で AirStation の画面から IP アドレスを確認できます。（操作したいパソコンの IP アドレスが AirStation から自動的に割り当てられている場合のみ）

4

接続が完了したら、接続先パソコンのデスクトップが表示され、メールチェックや録画予約が可能になります。

メモ メールソフトや録画予約の方法については、お使いのソフトのマニュアルを参照してください。

以上で自宅のパソコンへのアクセスは完了です。

Step 2c 外出先から会社のイントラネットへアクセスする

外出先から会社のイントラネットへアクセスするには、 以下の手順にしたがってください。

1 WEB ブラウザを起動します。

2 グループウェア等のイントラネットホームページのアドレスを入力して <Enter> キーを押します。

3 ホームページが表示されます。

以上でイントラネットへのアクセスは完了です。

2

外出先からアクセスする

第3章
ネットワーク同士を接続する

3.1 本社側の設定をしよう

3.2 支社側の設定をしよう

3.3 本社－支社間で通信しよう

3.1 本社側の設定をしよう

最初に本社側の AirStation の設定をします。

Step 1 AirStation の設置

最初に AirStation を設置します。

メモ
- AirStation をお使いになる前に、ADSL/ ケーブルモデムにパソコンを直結してインターネットに接続していた場合は、いったん ADSL/ ケーブルモデムの電源を OFF にした後、30 分程度たってから配線してください。
- Windows2000 をお使いの場合は、パソコンに Internet Explorer5.5 以降がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、作業を始める前に［スタート］メニューより［Windows Update］を選択して、Internet Explorer をバージョンアップしてください。

1 AirStation を接続する前に、パソコンと ADSL/ ケーブルモデムの電源を OFF にします。

2 スタンドを取り付けます。

3 AirStation とモデムと AC アダプタを接続します。

AirStation の WAN ポート（一番下のポート）と ADSL/ ケーブルモデムを付属の LAN ケーブルで接続します。次に AC アダプタを接続します。

メモ AirStation とパソコンを有線（ケーブル）で接続する場合は、ここでパソコンと AirStation を別売の LAN ケーブルで接続してください。

4 POWER ランプと WAN ランプと DIAG ランプが点灯します。

しばらくすると、WIRELESS ランプが点灯します。
その後、数秒で DIAG ランプが消灯します。

以上で設置は完了です。

次へ
- 無線を使ってパソコンと AirStation を接続する場合は、「Step2」(P44) へ進んでください。
- 有線（ケーブル）でパソコンと AirStation を接続する場合は、「Step4」(P48) へ進んでください。 （「Step2」や「Step3」の手順は不要です）

Step 2 無線アダプタ（子機）の取り付け

ドライバをインストールして、無線アダプタをパソコンに取り付けます。

- WLI-CB-G54 や WLI2-USB2-G54 など AOSS に対応している弊社製無線アダプタをお使いの場合は：

  ⇒ 以下の手順にしたがってインストールしてください。

- AOSS に対応していない弊社製無線アダプタや他社製無線アダプタ、無線 LAN 内蔵パソコンをお使いの場合は：

  ⇒ 以下の手順は不要です。無線アダプタやパソコンのマニュアルを参照して無線機能を有効にし、AirStation に接続してください（※）。AirStation に接続した後は、「Step4」（P48）へ進んでください。

  ※ AirNavigator CD 内「AirStation 設定ガイド」の「無線機能の設定を変更したい」を参照してください。

メモ **AirStation の出荷時設定**

ESSID(SSID)：AirStation 底面に記載されている LAN MAC アドレス
暗号化キー　：設定なし

※ AOSS で設定された AirStation の ESSID(SSID) と暗号化キーを確認したいときは、AirNavigator CD 内「AirStation 設定ガイド」の「設定を確認したい」を参照してください。

まだ取り付けないでください
無線アダプタは、以下の手順６の取り付け指示があるまで、取り付けないでください。先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、［キャンセル］をクリックして、無線アダプタを取り外してください。

1 パソコンを起動します。

2 添付の CD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。

しばらくすると、AirNavigator が起動します。

3

［バッファロー無線アダプタの設定］を選択します。

［実行］をクリックします。

4 インストーラが起動しますので、［次へ］をクリックします。

5 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［同意する］を選択して、［次へ］をクリックします。

6

「製品を取り付けてください」と表示されたら、無線アダプタ（子機）をパソコンに取り付けます。

7 「インストールが完了しました」と表示されたら、［完了］をクリックします。

8 自動的に Client Manager2（クライアントマネージャ 2）のインストール画面が表示されます。

9

［OK］をクリックします。

10 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［同意］をクリックします。

11 ［次へ］をクリックします。

12 「Client Manager2 のインストールが完了しました」と表示されたら、［OK］をクリックします。

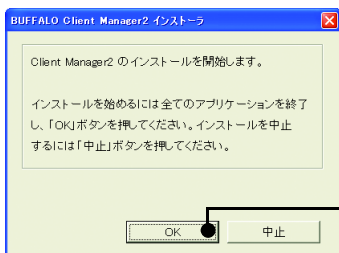
以上で無線アダプタ （子機） の取り付けは完了です。

Step 3 無線アダプタ（子機）の設定

AOSS 機能を使って、無線アダプタ（子機）を AirStation（親機）に無線で接続します。

AirStation（親機）の近くで設定してください
セキュリティを確保するため、無線アダプタ（子機）設定時は、電波が一時的に弱くなります。近くに障害物などがあると、AirStation（親機）に接続できない場合がありますので、設定は AirStation（親機）の近くでおこなってください。

1

ステータスを表示する(S)
検索を表示する(F)
プロファイルを表示する(P)
バージョン情報(A)
終了(X)

1 選択

画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「プロファイルを表示する」を選択します。

2

1 クリック

「AOSS 」をクリックします。

3

「AirStation のセキュア接続スイッチを押してください」と表示されたら、DIAG ランプが激しく点滅するまで（約 3 秒間）、AOSS ボタンを押します。
※ AOSS ボタンは、AirStation の電源を入れた状態で押してください。

4

自動的に AirStation が検索されて、設定が行われます。

5

設定が完了すると、「AirStation との接続を完了しました」と表示されます。

メモ

- 「セキュリティキー交換でエラーが発生しました」と表示されたときは、AirStation と無線アダプタを近づけてから（50cm 以内）、［やり直す］をクリックしてください。
- エラーメッセージが表示されたときは、AirNavigator CD 内「AirStation 設定ガイド」の「Client Manager2（クライアントマネージャ 2）の使いかた」を参照してください。

6

「ステータス」に接続中と表示されることを確認します。

メモ AirStation（親機）に正しく接続されなかった場合、AirStation の DIAG ランプが点滅から点灯に変わります。その場合は、再度手順 1 からおこなってください。

以上で無線アダプタ（子機）の設定は完了です。

Step 4 インターネットへの接続

AirStation を経由してインターネットへ接続できるように設定します。

1 添付の CD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。

しばらくすると、AirNavigator が起動します。

2

［エアステーション設定］を選択します。

［実行］をクリックします。

3 お使いの無線アダプタ（ネットワークアダプタ）を選択して、［次へ］をクリックします。

［次へ］をクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

4

ユーザー名に「root」（小文字）を入力します。パスワードは空欄のままにします。

［OK］をクリックします。

5

1 選択

設定画面が表示されたら、お使いの回線を選択します。

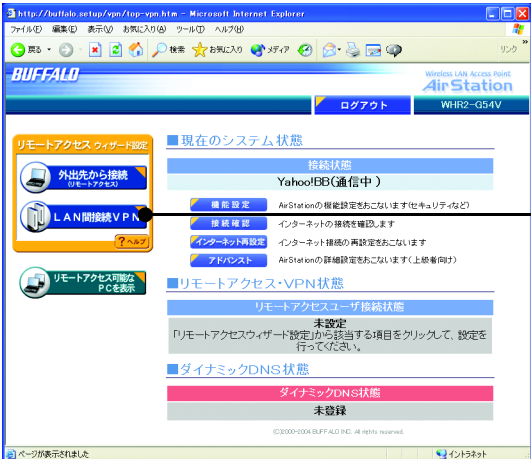
6 以降は、画面の指示に従い設定をおこないます。

設定が完了したら、Internet Explorer を起動して、インターネットに接続してください。

以上でインターネットへの接続は完了です。

Step 5 AirStation の設定

1 AirStation の設定画面を表示します。

WEB ブラウザのアドレス欄に「buffalo.setup」と入力し、<Enter> キーを押します。

2

1 入力 ユーザー名に「root」を入力します。パスワードを空欄にします。AirStation にパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。

2 クリック [OK] をクリックします。

3

画面左の［LAN 間接続 VPN］をクリックします。

4

1 選択 ［本社側（サーバ）の設定をする］を選択します。

2 クリック ［進む］をクリックします。

5

ダイナミック DNS に［利用する］を選択します。

［進む］をクリックします。

メモ 固定 IP アドレスをご利用の場合など、ダイナミック DNS を使用しない場合は、ダイナミック DNS に［利用しない］を選択して、［進む］をクリックします。以降は、手順１７へ進んでください。

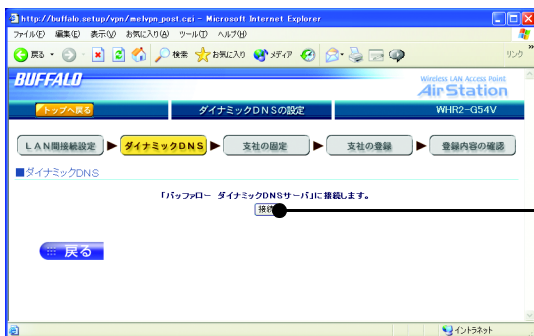
6

ご使用になるダイナミック DNS サーバを選択します。

［進む］をクリックします。

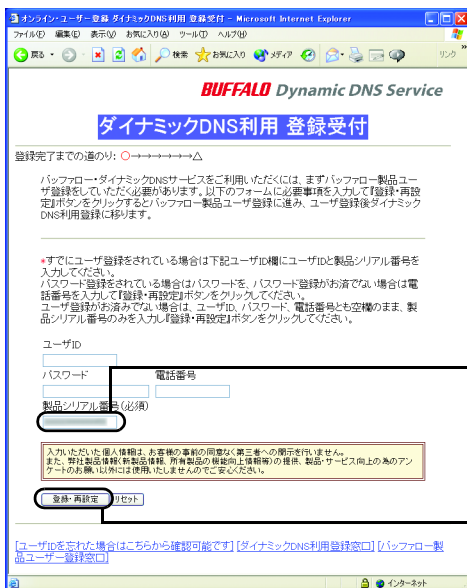
メモ
- はじめてダイナミック DNS サービスをご利用になる場合は、設定方法が簡単な「BUFFALO ダイナミック DNS サービス」（有料）の利用をおすすめします。
- 弊社以外のダイナミック DNS サービスをご利用になる場合は、「その他の DNS サーバ」欄をチェックし、プルダウンメニューから選択してください。
- プルダウンメニューにないダイナミック DNS サービスは利用できません。

以降の手順は、BUFFALO ダイナミック DNS サービスを利用する場合の手順です。

BUFFALO 以外のダイナミック DNS サービスを利用する場合は、「ホスト名」、「ドメイン名」、「ユーザ名」、「パスワード」、「IP アドレス更新周期（有効期間）」を入力して［進む］をクリックし、手順１７へ進んでください。

7

1 クリック

[接続] をクリックします。

8

9 「個人・法人」、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メールアドレス」を入力し、製品シリアル番号欄の下にある「ダイナミック DNS を利用する」をクリックしてチェックマークをつけ、[登録] をクリックします。

10 登録内容を確認して、[登録] をクリックします。

11 [ダイナミック DNS 利用登録開始] をクリックします。

12 会員規約を確認し、同意できる場合は [同意して登録する] をクリックします。

13

1 入力 希望する URL のサブドメイン名（例：buffaloinc.bf1.jp）を半角英数字で入力します。

2 クリック ［送信］をクリックします。

14

1 確認 登録内容を確認します。

2 クリック ［ルータに登録］をクリックします。

15

1 入力 ユーザー名に「root」を入力します。パスワードを空欄にします。AirStationにパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。

2 クリック ［OK］をクリックします。

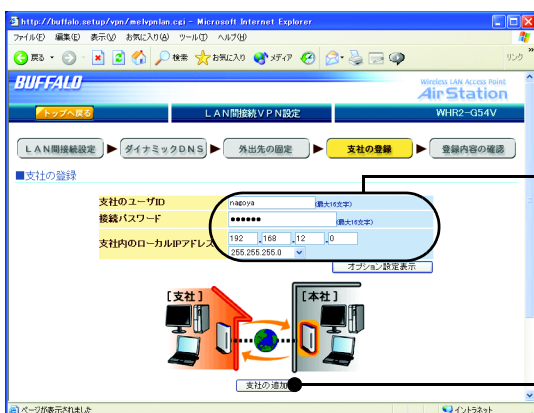
16 「設定を保存しています... 完了」と表示されたら、［Next］をクリックします。

17

［固定しない］を選択します。

［進む］をクリックします。

メモ 特定の IP アドレスから本社に接続する場合は、［固定する］を選択して［進む］をクリックします。次の画面が表示されたら、「接続を許可する支社の IP アドレス」を入力して、［アドレスを追加］をクリックし、［進む］をクリックしてください。

18

支社側から接続する際に使用するユーザIDとパスワード、支社内のローカルIPアドレスを設定します。

［支社の追加］をクリックします。

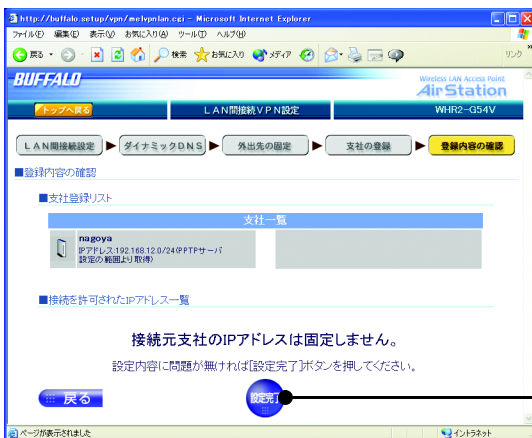
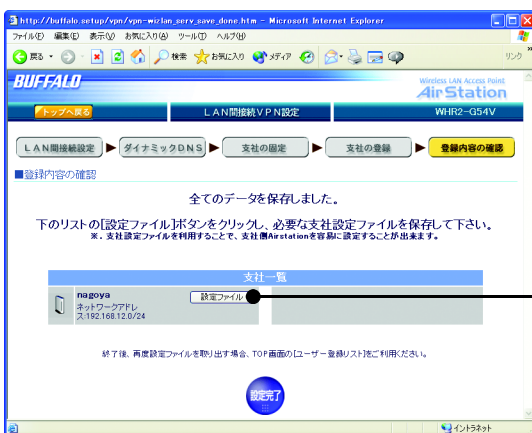
19

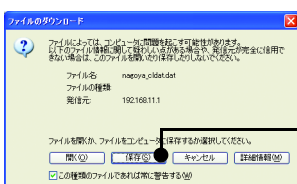
「支社一覧」に登録した支社が表示されることを確認します。

［進む］をクリックします。

20

［設定完了］をクリックします。

21

支社一覧に表示されている［設定ファイル］をクリックします。

22

［保存］をクリックし、設定ファイルを保存します。

以上で本社側の設定は完了です。

Step 6 AirStation の設定内容の送信

本社側の AirStation の設定が完了したら、 Step5 の手順 22 （P55） で作成した設定ファイルを支社へ送信します。

3.2 支社側の設定をしよう

Step 1 AirStation の設置と設定

最初にAirStationの設置をおこなった後、インターネットに接続できるようにAirStationを設定します。

設置方法やインターネットへの接続方法は、「本社側の設定をしよう」(P42) の Step1～4 を参照してください。

Step 2 設定データの復元

インターネットに接続できたら、本社から送られてきた設定ファイルを AirStation に読み込みます。

⚠注意 設定ファイルを読み込むと、支社側のローカル IP アドレス（AirStation 出荷時は、192.168.11.0）が変更されます。そのままではインターネットに接続できなくなりますので、いったんパソコンを再起動してください。

1 AirStation の設定画面を表示します。

WEB ブラウザのアドレス欄に「buffalo.setup」と入力し、<Enter> キーを押します。

2

192.168.11.1 に接続

BUFFALO WHR2-G54V

ユーザー名(U): root

パスワード(P):

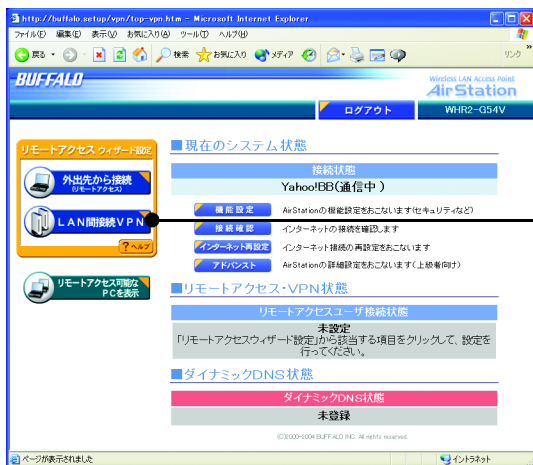
□パスワードを記憶する(R)

OK　キャンセル

①入力

②クリック

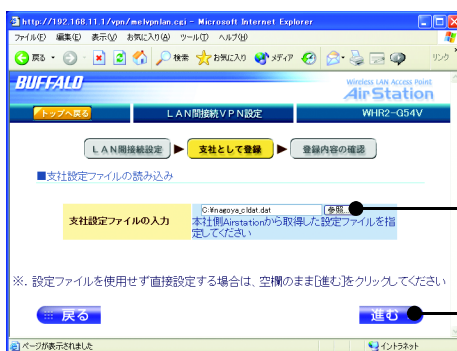
ユーザー名に「root」を入力します。
パスワードを空欄にします。AirStation にパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。
[OK] をクリックします。

3

1 クリック ［LAN 間接続 VPN］をクリックします。

4

1 クリック ［支社側（クライアント）の設定をする］をクリックします。

2 クリック ［進む］をクリックします。

5

1 クリック 参照ボタンをクリックして、本社から送られてきた設定ファイルがある場所を入力します。

2 クリック ［進む］をクリックします。

6

設定内容を確認します。

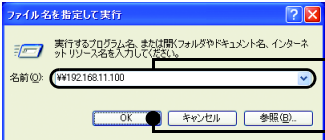
［設定完了］をクリックします。

7

「LAN 間接続設定が完了しました」と表示されることを確認します。

［設定完了］をクリックします。

8 パソコンを再起動します。

以上で支社側の設定は完了です。

3.3 本社ー支社間で通信しよう

ここまでの設定が完了したら、 本社 - 支社間を VPN で接続します。 VPN で接続するには、 最初に支社側から本社へ通信を始める必要があります。

ここでは例として、 支社から本社のファイルサーバ （IP アドレス ：192.168.11.100） にアクセスする方法を説明します。 以下の手順でアクセスしてください。

1 ［スタート］ー［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2

「名前」に「¥¥(本社ファイルサーバーの IP アドレス)」と入力します。

［OK］をクリックします。

3

ファイルサーバー内のファイルが表示されてアクセスできるようになります。

以降は、 本社から支社への通信も可能となります。

第4章
付録

4.1 リモートデスクトップ（遠隔操作）の設定をするには

リモートデスクトップ機能を使用すると、外出先から自宅のパソコンを遠隔操作することができます。リモートデスクトップを使用するには、「操作される側」と「操作する側」双方のパソコンに設定が必要になります。以下の手順で設定をおこなってください。

⚠注意
・操作される側のパソコンには、Windows XP Professional がインストールされている必要があります。Windows XP Home または Windows Me/2000 では、リモートデスクトップは使用できません。
・操作される側のパソコンに、あらかじめパスワードが設定されている必要があります。パスワードが設定されていないと、リモートデスクトップは使用できません。

メモ　リモートデスクトップについての詳細は、Microsoft のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/using/howto/gomobile/remotedesktop/）をご参照ください。

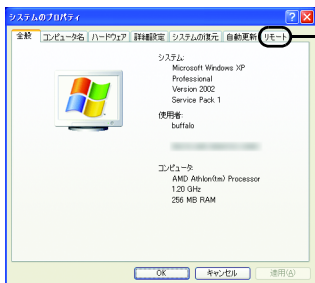
Step 1 自宅（遠隔操作される側）のパソコンの設定

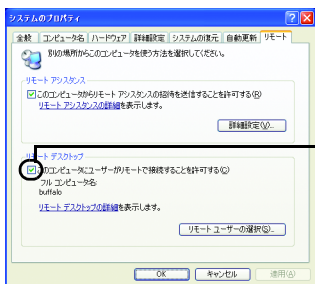
自宅のパソコンの設定をします。

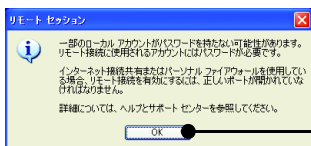
メモ
・アクセスできるユーザーは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーのみになります。
・パソコンにパスワードが設定されていない場合は、以下の操作をおこなう前に、パスワードを設定してください。
・パスワードは、[スタート] ー [コントロールパネル] 内の [ユーザーアカウント] 画面で設定することができます。

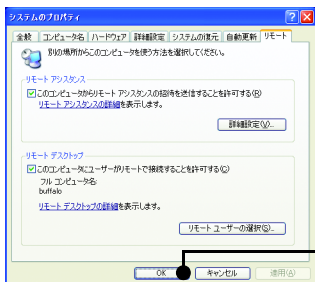
1 [スタート] をクリックします。

2 [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。

3

[リモート] をクリックします。

4

［このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する］をクリックしてチェックマークをつけます。

5

［OK］をクリックします。

6

［OK］をクリックします。

以上で自宅のパソコンの設定は完了です。

4

付録

Step 2 外出先（遠隔操作する側）のパソコンの設定

外出先で使うパソコンの設定をします。

メモ 設定には、Windows XP Professional の CD-ROM が必要になります。あらかじめお手元にご用意ください。

1 Windows XP Professional の CD-ROM をパソコンにセットします。

2

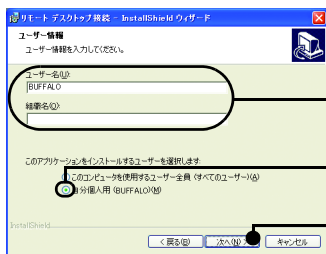
［追加のタスクを実行する］をクリックします。

3

［リモートデスクトップ接続をセットアップする］をクリックします。

4 インストーラが起動しますので、［次へ］をクリックします。

5 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［使用許諾契約書に同意します］を選択して、［次へ］をクリックします。

6

メモ　ここで設定する内容を他のユーザーも使用する場合は、［このコンピュータを使用するユーザー全員］を選択してください。

7

［インストール］をクリックします。

8

「インストールが完了しました」と表示されたら、［完了］をクリックします。

以上で外出先で使うパソコンの設定は完了です。

4.2 AOSSで設定されたESSID（SSID）と暗号化キーを確認するには

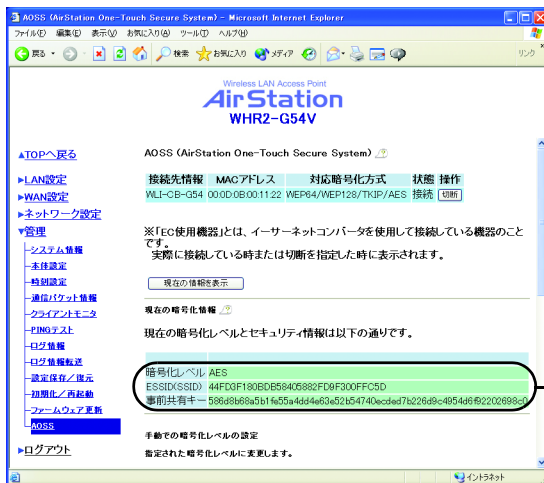
AOSSで設定されたESSID（SSID）や暗号化キーは、以下の手順で確認できます。

1 AirStationの設定画面を表示します。

WEBブラウザのアドレス欄に「buffalo.setup」と入力し、<Enter>キーを押します。

2 ［アドバンスト］をクリックします。

3 左のメニューから、「管理」－「AOSS」の順にクリックします。

4

暗号化レベル、ESSID（SSID）、暗号化キーを確認します。

4.3 AOSS 機能を無効にするには

暗号化キーを手動で設定したり、無線アダプタから AirStation を検索できなくする場合など、 無線に関する設定を手動でおこないたい場合は、 AOSS 機能を無効にする必要があります。 設定は以下の手順でおこないます。

メモ AOSS 機能を無効にすると、AirStation の無線の設定が初期化されます。

1 AirStation の設定画面を表示します。

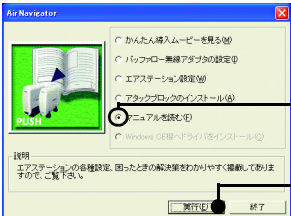
WEB ブラウザのアドレス欄に「buffalo.setup」と入力し、<Enter> キーを押します。

2 [アドバンスト] をクリックします。

3 左のメニューから、「管理」－「AOSS」の順にクリックします。

4 「AOSS データの削除」欄にある「」をクリックします。

5 「AOSS データを削除しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

6 無線アダプタから AirStation に接続できなくなりますので、AirNavigator CD 内の「AirStation 設定ガイド」を参照して、AirStation に再接続します。

メモ AirNavigator CD から「マニュアルを読む」→「無線機能の設定を変更したい」→「WHR2-G54V」→「AOSS 機能を無効にする」を参照してください。

4.4 AirStation 設定ガイドを見るには

NTT フレッツ・スクウェアの設定方法や AirStation 同士で通信する場合の設定方法など、さらに細かな設定をする場合は、添付の CD-ROM（Air Navigator CD）に収録されている「AirStation 設定ガイド」を参照してください。AirStation 設定ガイドは、以下の手順で見ることができます。

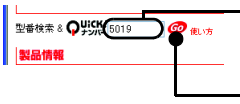
1 CD-ROM（Air Navigator CD）をパソコンにセットします。

2

［マニュアルを読む］をクリックします。

［実行］をクリックします。

3

AirStation設定ガイドが表示されます。

4.5 VPN で困ったときは

外出先から自宅のパソコンにアクセスできないなど、 VPN で困ったときは、 以下の手順で弊社ホームページの Q&A を参照してください。

メモ　インターネットに接続できない場合など、VPN 以外で困ったときは、AirNavigator CD 内の「困ったときは」を参照してください。

1 WEB ブラウザを起動します。

2

アドレス欄に「buffalo.jp」と入力し、<Enter> キーを押します。

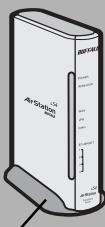
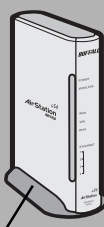
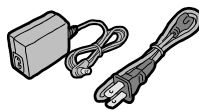
3

「型番検索 &Quick! ナンバー」欄に「5019」と入力します。

[Go] をクリックします。

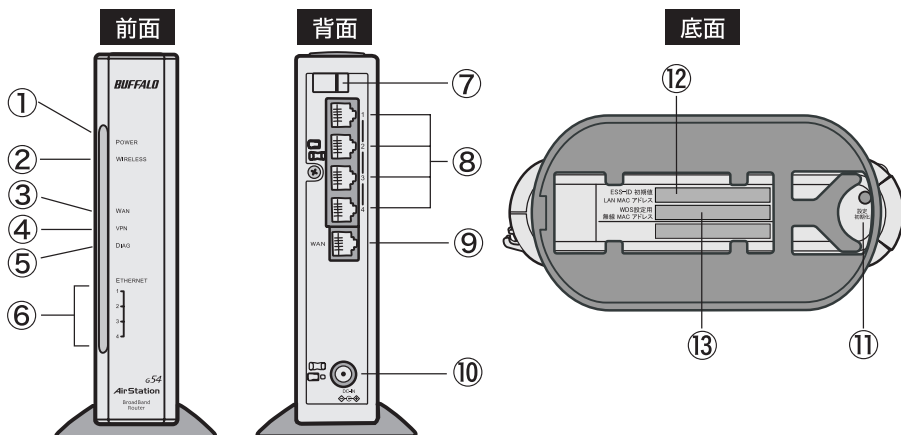
以上で Q&A ページが表示されます。

4.6 パッケージの内容

万がいち、 不足しているものがありましたら、 お買い求めの販売店にご連絡ください。

※ 追加情報が別紙で添付されている場合は、 必ず参照してください。

※ 本製品は、 GPL の適用ソフトウェアを使用しており、 これらのソースコードの入手、 改変、 再配布の権利があります。 詳細は、 添付 CD-ROM 内の 「gpl.txt」をご覧ください。

4.7 各部の名称とはたらき

■ AirStation （WHR2-G54V ： 親機）

① POWER ランプ （緑）	点灯：AC アダプタ接続時 消灯：AC アダプタ未接続時
② WIRELESS ランプ （緑）	点灯：無線 LAN 接続が有効時 点滅：無線 LAN 通信中
③ WAN ランプ （緑）	点灯：リンク時 点滅：通信時
④ VPN ランプ （緑）	点灯：外部から VPN でアクセスされている時
⑤ DIAG ランプ （赤）	DIAG ランプの点灯回数により異常内容を示します。

⚠注意 DIAG ランプは、 AirStation （親機） の設定時とファームウェア更新時も点灯します。 この場合は、 絶対に AC アダプタをコンセントから抜かないでください。

※ データ書き込み時以外に DIAG ランプが点灯したら （5 回の場合を除く）、 一度、 AC アダプタをコンセントから抜いて、 しばらくしてから再度差し込んでください。 再びランプが点灯している場合は （5 回の場合を除く）、 弊社修理センター宛てに AirStation をお送りください。
DIAG ランプが 5 回点灯しているときは、 AirStation （親機） の WAN ポートと LAN ポートが同じネットワークアドレスに設定されているため、正しく通信できません。 AirStation （親機） の LAN 側 IP アドレスの設定を変更してください。

点灯状態	内容	状態
3回点灯	有線LAN異常	有線LANコントローラが故障しています。
4回点灯	無線LAN異常	無線LANコントローラが故障しています。
5回点灯	IPアドレス設定異常	WANポートとLANポートのネットワークアドレスが同じのため通信できません。AirStation(親機)のLAN側IPアドレスの設定を変更してください。
激しく点滅	AOSS動作時	AirStationがセキュリティキー交換処理を行える状態です。
点灯が続く	AOSS異常終了	AirStationがセキュリティキー交換処理に失敗しました。

⑥ ETHERNET ランプ (緑) 点灯：各LANポートのリンク時
点滅：各LANポートの通信時

⑦ 外部アンテナ用コネクタ カバーを横にずらして、別売の外部アンテナ WLE-NDR/DAを接続します。

⑧ LAN ポート (Switch) パソコン/ハブを接続します。10M/100M対応スイッチングハブです。

⑨ WAN ポート ADSL/ケーブルモデムを接続します。10M/100M対応です。

⑩ DC コネクタ 付属のACアダプタを接続します。

⑪ 設定初期化スイッチ （AOSS ボタン）

AirStation の電源を入れた状態で、前面パネルにあるDIAGランプが点滅するまで (約3秒間) スイッチを押すと、AirStation がセキュリティキー交換処理を行える状態（AOSS 動作状態）になります。さらにDIAGランプが消灯するまで（約5秒間）スイッチを押し続けると、AirStation の設定内容が初期化されます。

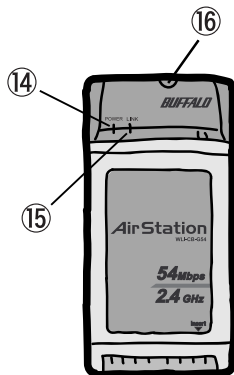
⑫ ESS-ID 初期値　LAN MAC アドレス

AirStationのESSID（SSID）の初期値が記載されています。「000D0B」から始まる12桁の値です。

⑬ WDS 設定用 無線 MAC アドレス

WDS/リピータ機能を使うときに設定する、無線MACアドレスが記載されています。「 000740 」または「000D0B」から始まる12桁の値です。

■　無線アダプタ　（WLI-CB-G54 ： 子機）

※　WHR2-G54V/P の方のみ

⑭ POWER ランプ　（緑）	点灯：動作時
⑮ LINK ランプ　（緑）	点滅：データ送受信時
⑯ アンテナコネクタ	別売の外付けアンテナを接続します。ふたを外してから接続します。

4.8 製品仕様

■ 主な仕様

データ転送速度	10/100Mbps(自動認識)
ポート数	LAN ： 4 ポート、 WAN ： 1 ポート (LAN ポート、 WAN ポートともに AUTO-MDIX 対応)
消費電力	最大 6.0W
動作温度 / 動作湿度	0 ～ 40 ℃ /20 ～ 80%(結露なきこと)
外形寸法 (スタンド除く)	38(W) × 174(H) × 140(D)mm

■ 主な出荷時設定

項目	出荷時設定
LAN 設定	
ESSID（SSID）	AirStation の LAN MAC アドレスを設定
無線チャンネル	11 チャンネル
DTIM Period	1
LAN 側 IP アドレス	192.168.11.1（255.255.255.0）
フレームバースト	使用する
802.11g プロテクション	ON
DHCP サーバ機能	使用する 割り当て IP アドレス　：192.168.11.2 から 16 台 デフォルトゲートウェイ　：AirStation の IP アドレス DNS サーバの通知　：AirStation の IP アドレス
WAN 設定	
WAN 側有線の通信方式	自動
ネットワーク設定	
パケットフィルタ	NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する、IDENT の要求を拒否する
管理	
管理ユーザ名・パスワード	root ／ 設定なし

本製品の製品仕様および製品概要については、CD-ROM「AirNavigator CD」内 AirStation 設定ガイドを参照してください。

すべての出荷時設定値は、AirStation 設定ガイドの「アドバンストモードの機能一覧」に記載されています。